

報道関係者 各位

B リーグ 6 チーム参加のプレシーズンイベント 「KOBE RISING -2025-」の開催が神戸市にもたらした 経済効果、消費構造、回遊行動について共同研究の結果を公開

同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科 青井 一真氏(博士後期課程)、庄子 博人准教授は、株式会社 One Bright KOBE、株式会社ストークス、一般財団法人ひょうご経済研究所と共同で、GLION ARENA KOBE で開催された B リーグ 6 チーム参加のプレシーズンのイベント「KOBE RISING -2025-」の地域経済効果や来場者の消費・回遊行動を分析し、その結果を公表しました。

来場者アンケートとイベント運営支出データを用いた分析の結果、本イベントは神戸市内に約 1.9 億円（直接効果約 1.2 億円）の経済効果を創出し、生産誘発倍率は 1.56 倍と推計されました。これは、大型集客施設で開催される単日イベントとして高い経済波及効果を持つことを示しています。

また、30～40 代は飲食・物販ともに消費単価が高く、飲食は男性、物販は年代の影響を強く受けるなど、消費構造の違いも確認されました。さらに、回遊箇所数が多い来場者ほど地域内消費だけでなくアリーナ内での飲食・購買額も高い傾向がみられ、回遊行動が来場者体験の向上と消費拡大につながる重要な要因であることが示されました。

◆経済効果レポート詳細はこちら

<https://doshishasportbusinesslab.jp/2026/06/11/kobe-rising-economic-impact/>

取材に関するお問い合わせ

同志社大学 学長室総合企画部 広報課 TEL：075-251-3120 FAX：075-251-3080

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入 e-mail: ji-koho@mail.doshisha.ac.jp

○本リリースは、同志社大学から京大記者クラブ加盟の各社、関西プレスクラブ、在阪民放4社京都支局にお送りしています